



UMEX 夢っくすニュース

かわらばん

第100回高田城址公園観桜会

高橋 和子

4月12日（土）に学生と高田公園の観桜会に行ってきました。今回で100回目を迎えるという節目の開催で様々なイベントが行われていましたが、今年の大雪の影響で、なかなか気温が上がらず開花したのが4月6日過ぎでどうなることかと心配でした。毎年、バスの予約の関係上、早めに日程を決めるので当日までの一か月はドキドキの連続でした。しかし、今年は見事に予想的中、近年でも稀にみる最高の天気、満開、満月と三拍子揃った夜桜日和となりました。今年は小さなお子様連れ



の学生さんも多かったのですが、きっと最高の夜桜見物になったのではないのでしょうか？

毎年、学生からはバスを2台にして欲しいとのリクエストを頂きますが、花見ほど天候に左右される行事はなく、その時のリスクを考えるとバス1台運営するのがやっとです。本当はもっと沢山の方を連れて行きたいのですが、希望に添えなくて残念です。ただ、また来年も最高の夜桜見物が出来ると頑張りますので、ご協力宜しくお願い致します。



着付に参加して

角屋 志津子

今年は例年がない大雪の影響で、国際大学構内の雪解けや桜の開花が遅れましたが、ようやく春らしさを感じられるようになった4月21日（月）～27日（日）、卒業を迎える学生さんとそのご家族を対象に着物の着付けをお手伝いさせていただきました。

私は月に1回ほど着物を着る機会がありますが、自分で着るのと人に着せてあげるのでは勝手が違って戸惑う場面もありました。それでも着付けのサポートをできる範囲で精一杯お手伝いをさせていただきました。

予約、受付、足袋を履かせること、着物や体型に合わせた襦袢の選定、帯や小物の準備、着付け、脱衣、後片付けや洗濯に至るまで、多くの役割があり、

それらを皆で分担しながら連携して進めていきます。今年は予約方法を従来のメールからサロン入口前の受付簿による書面方式に変更しましたが、受付開始とともに予約が埋まり、キャンセル待ちや何とか予約を入れたいという学生さんの姿も見られました。それだけこの着付けの機会が学生さんにとって日本文化を体験する貴重な時間であり、楽しみにしているものであるかが伝わってきました。“夢っくす着付けチーム”という言葉がぴったりなほど、役割を分担し、連携しながら次々と着付けを行っていく様子はまさにチームワークそのものです。私も仕事や所用の合間に可能な限りお手伝いにかがいがいましたが、少しでもお役に立てたらうれしい限りです。何よりも、学生さんたちの満足そうな笑顔が、疲れや大変さを吹き飛ばし、こちらの気持ちも明るくしてくれました。

今は私にできることはまだ限られていますが、今後もこの活動が継続できるよう、着付けや語学など自分自身も学び続けていきたいと思えます。今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。

Happy Children's Day ♪ 平野 浩子

5月10日（土）に少し遅れた子供の日を大勢の方にご参加頂き和やかに祝うことができました。年齢の違う子供みんなが楽しめるゲームを・・・と考え企画したこの度のイベント。夏祭りには少し早いですが、魚に見立てたお菓子を釣る「お菓子釣りぼり」と輪投げの距離を3段階に設定した「ペットボトルわなげ」の縁日風ゲームをご用意。釣れたお菓子はお土産に輪投げはうまく入れればゼリー



を獲得というルールとし、子供だけでなく大人も皆真剣にご参加いただきました。そ

れに加え、子供達は物作りもとても上手で、イベントにちなんだペーパークラフトを恒例にしていますが、今回はこのぼりをモチーフにした「このぼりリース」と新聞紙で大きな「兜」を作りました。折り紙やシールを使って見本を参考にオリジナルのリースを作る子供達。作った兜をか



ぶりながらゲームに参加する姿も微笑ましいものでした。

子供たちの発想にはいつも驚かされます。子供らしさは万国共通。思いもよらないカラフルなこのぼりやリースのデコレーション等その出来上がりを眺める瞬間はイベントに参加する至福のひとつです。そして子供たちの集中力もたいしたもの。ゲームで見せる真剣な眼差しも紛れもなくこのイベントの醍醐味だと感じました。子供たちはもちろん、ご家族の皆様にも楽しんでいただけたようで、「ゆっくり遊べる時間が持てて良かった」「日本らしい遊びがとても楽しかった」などの感想を頂き、伝統行事の意味を簡単に説明することで、文化的な学びの機会に繋がったことも嬉しく思います。

準備・運営に携わってくださった全ての方々へ心より感謝いたします。来年も、子どもたちの健やかな成長を願いながら、イベントを企画してまいります。



ホームページもご覧ください
<https://www.umex.ne.jp/>



世界の味と踊りを満喫！ 大嶋 映子

5月24日（土）に国際大学で開催された「インターナショナル・フェスティバル」は、多文化の魅力が凝縮されたイベントでした！会場は異国情緒あふれる音楽やダンス、様々な国の伝統料理で賑わい、訪れた人々は異文化交流を通じて新たな発見を楽しみました。食べ物で印象的だったのがナイジェリアの小さな揚げパンです。生地はもちもちとして弾力があり、シナモンをかけて食べます。ナイジェリアの素材の味を大切にしながらも、不思議と優しさを感じる味わいでした。エジプトチームのダンスは、まさに息を呑むようなパフォーマンスでした。その優雅でありながらも大胆で力強い踊りは、観客を

一瞬で魅了し、エジプトの伝統と美しさを存分に感じさせてくれました。そして、南米チームのダンスは一転して情熱的！力強いリズムに合わせて踊るその姿は、まるで魂そのものが音楽に溶け込んでいるようでした。観客は手拍子をしながら笑顔いっぱい、まるで会場全体がひとつになったような感覚でした。

普段はサロンで日本語を学ぶ留学生たちが、料理やダンスで輝く姿を見るのは新鮮で感動的でした。知らなかった才能や個性を発見でき、絆がさらに深まる素敵な瞬間でした。



ナイジェリアの小さな揚げパン



アフリカデー

篠田 幸枝

毎年、インターナショナル・フェスティバルの翌日にアフリカデーというアフリカコミュニティのBBQイベントがあります。今年は5月25日（日）に行われました。

BBQサイトで行われていて、焼き肉やあまり馴染みのないアフリカ料理、スープやサラダ、カレー、デザートなど沢山の料理がビュッフェさながらに並び、多くの学生や教授などで賑わっています。知り合った学生が招待してくれたおかげで、縁があって、今年は3回目の参加になりました。しかし、当日はかなりの雨で、今年は開催できないかもしれないなあ、そんなふうに思っていたところ、『いえ。アフリカ人は何があってもやりますよ』との力

強い声がどこからともなく聞こえたように、CNPを借りて室内での開催になりました。室内はアフリカの旗でデコレーションされ、音楽が流れ、めずらしい料理がテーブルの上に色とりどりに並んでいました。中くらいのプラスチックボウルを渡され、料理はアフリカの方が盛ってくれました。次から次へと目移りするような料理だったので、少しずついただいた結果、最終的に出来上がった料理は色々な物が盛りだくさん、よくわからない見た目になってしまいました。しかし、これが本当においしい。アフリカの料理は何を食べてもおいしくて、いつもびっくりします。ウガリといわれるお餅に近い食感の主食にスープをつけて食べるのがアフリカの食べ方なのとか。アフリカのお茶をいただいて、外のテーブル席で一休みしていると、中ではダンスパーティーで盛り上がっていました。覗きに行ってみると、学生のひとりがDJをやっているようで、周辺にはダンスで飛び跳ねている集団が…私も参加してみましたが、すぐに疲れてしまったので、写真を撮ることに専念していると、いつの間にか高橋会長がセンターに呼ばれて踊っていました。アフリカの衣装を着ていたので、すっかり周囲に溶け込んでいました。学生の熱気は冷めやらず、私たちはキリが良いところで切り上げることにしました。いつもは参加者で絵文字を作った集合写真を上空から撮影するのですが、今年は雨で見送られたようです。最近ではアフリカの学生が多いためか、主催者も参加者も楽しめる盛大なイベントになったようです。お祭りのような楽しい雰囲気、今回、私達を誘ってくれた学生さんに感謝しています。学生との交流はいつも自分を知らない世界へ連れて行ってってくれてワクワクさせてくれます。



これは後日に聞いた話で、私は参加しなかったのですが、また違う天気の良い日にBBQサイトでアフリカデーの続きをやっていたようです。残った肉を焼いて食べて、全体の集合写真も撮影したのだとか。さすが『アフリカ人は何があってもやる』の信念を持っているかのよう。来年はお天気に恵まれますように。

静かな夏の思い出（初めての茶道体験）

夏の終わり、私たちは夢っくすが開いた茶道体験に参加しました。これは私たちにとってとても大切な思い出になりました。IRPプログラムの2年目が始まる前に、素敵な時間を過ごすことができました。

マリア（ウクライナ出身・IRP 1年生）

友達と一緒に、静かで落ち着いた部屋に入りました。部屋の中はシンプルで、道具や動きの一つひとつに意味があるように感じました。夢っくすの先輩が、茶道の大切な4つの心を教えてくださいました。それは、和（わ）、敬（けい）、清（せい）、寂（じゃく）です。私たちは、手を清めて、礼をして、お茶を作る動きを見ながら学びました。

抹茶を飲むだけではありません。ゆっくりとした時間の中で、香りや音、気持ちを大切にすることを学びました。友達と一緒に笑ったり、小さな声で感想を言ったりして、もっと仲良くなれたと思います。この体験は、忙しい学校生活が始まる前に、心を落ち着かせる大事な時間になりました。



茶道体験は6月24日（火）に行われました。

ランジータ（インド出身・IRP 1年生）

茶道体験の時、夢っくすのメンバーがとても親切に迎えてくれて、少しさびしかった気持ちも元気になりました。きれいに準備された道具を見て、まず伝統的なお菓子を食べました。あけみさんと夢っくすの方が、抹茶の作り方をゆっくり教えてくれて、私も粉をすくって、お湯を入れて、茶せんで混ぜて、茶碗の持ち方まで学びました。最初は少し緊張しましたが、みんなのやさしい雰囲気ですぐに楽しくできました。一番印象に残ったのは、どの動きにも思いやりとルールがあることです。抹茶の作り方でなく、日本文化の深い意味も学びました。みんなが応援してくれて、私は本当にうれしかったです。この体験で、日本の文化、言葉、人ともっとつながることができたと思います。あけみさんと夢っくすに感謝しています。とても大切な時間でした。

修了式に参加して

高橋 和子



6月26日（木）に南魚沼市民会館大ホールにて、国際大学の修了式が行われました。

今年卒業した学生さんはコロナ禍後入学してきた学生さんでしたが、コロナの間に夢っくすの活動が停滞していたこともあって、先輩からの伝え話などが少なく、私たちの活動に対する認知度が低かったため、夢っくすサロンへいかに学生さんに戻って来て頂けるかと模索の2年間でした。そんな中、会員の皆様のご努力のお陰で、以前のように定期的に夢っくすサロンを開けることができ、どんどんサロンやイベントに参加してく

れる学生さんが増えてきました。サロンに参加してくれる学生さんは日本語が堪能な方が多く、この2年間はサロンでは殆ど日本語での会話が主流となっていました。そうやって仲が深まり、サロンでの会話練習以外にも一緒にお祭りに参加したり、温泉にでかけたりと幅広い交流ができました。ただ、2年間は本当にあっという間で、やっと軌道にのってきたところでお別れとなってしまいます。短い時間でしたが、久しぶりに多くの学生さんと会員の皆様それぞれの深い交流ができ、きっと各々多くの思い出が出来たのではないのでしょうか？

別れは寂しいですが、今年は卒業後も日本で働く学生さんも多いようです。きっとまたこの地球のどこかで立派に活躍する学生さんたちと再会できることを期待してお別れしました。学生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

★★会員紹介コーナー★★

- ①一番行きたい国②興味のある言語③趣味や特技④夢っくすでやってみたいことは
- ⑤今やっている国際交流⑥一言どうぞ！



会員No. 523 篠田 菜美子 (しのだ なみこ)

- ① ベトナム
- ② 英語
- ③ 旅行
- ④ 交流
- ⑤ 特になし
- ⑥ 昨年末に移住したばかりで、南魚沼初心者です。宜しくをお願いします。

新会員のご紹介

No.523 篠田 菜美子 (南魚沼市)

★よろしくをお願いします★



うおぬま国際交流協会

UONUMA Association for Multicultural EXchange



入会方法

入会の申込書を夢っくすのホームページから入手して、記載のうえ、夢っくすのメールアドレス宛に添付でお送りください。会費の振り込み先は以下となっております。入金された際には、いつ頃振り込まれたかお知らせください。

年会費

個人会員：3,000円

家族会員：1,500円

団体会員：1口 10,000円から任意の口数

郵便口座

口座番号：00550-7-74672

口座名称：うおぬま国際交流協会

発行元：

うおぬま国際交流協会（通称：夢っくす）

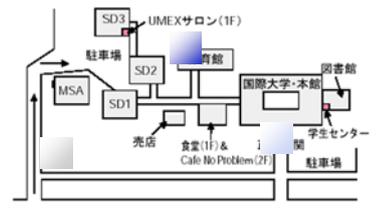
E-Mail: office@umex.ne.jp

URL: https://www.umex.ne.jp/

活動拠点：

夢っくすサロン（国際大学 第3学生寮1階）

右の地図に場所が示されています。



担当者連絡先

高橋 和子 (会長)：070-5083-3123

【編集後記】

今年も無事に学生を送り出すことができました。皆様のお陰で学生は良き思い出と共に新たな道を歩み始めたのではないのでしょうか。キャンパスでは、もう夏期の英語集中講座が始まり、賑やかさが戻りつつあります。(toshi)